

料金改定試算(B案)

I 改定想定・改定率

下記の想定に対する試算(案)

想定(1) 料金算定期間に発生する欠損金を累積させない

想定(2) 耐震化工事(浄水場施設のみ)で収益的支出の増加費用を計上

① 欠損金額見込

(税抜額)

平成26年度(見込)	36,632,175 円
平成27年度(見込)	35,967,784 円
平成28年度(見込)	36,503,901 円
平成29年度(見込)	36,323,771 円
平成30年度(見込)	36,974,658 円
計	182,402,289 円 … ①

② 耐震化工事に伴い収益的支出で増加する費用

工事費用 539,400,000 円を5等分し、毎年借入した場合の
企業債利息(利率2.0%で計算)

平成26年度(見込)	0 円
平成27年度(見込)	2,157,600 円 (26年度借入分の利息)
平成28年度(見込)	4,315,200 円 (26+27年度 ")
平成29年度(見込)	6,472,800 円 (26+27+28年度 ")
平成30年度(見込)	8,630,400 円 (26+27+28+29年度 ")
計	21,576,000 円 … ②

耐震補強工事を行った場合の減価償却費増加額

平成26年度(見込)	0 円
平成27年度(見込)	2,562,150 円 (26年度耐震工事した固定資産の減価償却費)
平成28年度(見込)	5,124,300 円 (26+27年度 ")
平成29年度(見込)	7,686,450 円 (26+27+28年度 ")
平成30年度(見込)	10,248,600 円 (26+27+28+29年度 ")
計	25,621,500 円 … ③

$$\text{① } 182,402,289 + \text{② } 21,576,000 + \text{③ } 25,621,500 = \underline{229,599,789 \text{ 円} \dots \text{④}}$$

③ 給水収益予測

財政収支計画 給水収益予測

平成26年度(見込)	418,648,541 円
平成27年度(見込)	419,297,837 円
平成28年度(見込)	416,332,349 円
平成29年度(見込)	414,553,844 円
平成30年度(見込)	412,733,979 円
計	2,081,566,550 円 … ⑤

④ 料金改定率の計算

$$\text{④ } 229,599,789 \text{ 円} \div \text{⑤ } 2,081,566,550 \text{ 円} = \underline{11.03\%}$$

改定率	11.03%
-----	--------

※ 単価は端数を処理するため、改定率と若干の差が生じる。

※ 改定基本料金では、水道使用料と量水器使用料を一体化する。

口径別 基本料金

(2箇月単位)

A 口径	現在の基本料金			改定基本料金			
	B 水道使用料 (税抜)	C 量水器 使用料 (税抜)	D 基本料金 +量水器 使用料	E 改定料金 (水道使用料 と量水器使 用料一体に)	F 増加する 額	G 改定率	H 平均 改定率
① 13mm	1,260	115	1,375	1,460	85	6.18%	8.46%
② 20mm	1,260	229	1,489	1,600	111	7.45%	
③ 25mm	4,500	248	4,748	5,120	372	7.83%	
④ 30mm	7,500	362	7,862	8,500	638	8.11%	
⑤ 40mm	13,000	420	13,420	14,560	1,140	8.49%	
⑥ 50mm	31,000	2,286	33,286	36,400	3,114	9.36%	
⑦ 75mm	45,000	3,429	48,429	53,200	4,771	9.85%	
⑧ 100mm	60,000	3,429	63,429	70,000	6,571	10.36%	

従量料金 単価

H 使用量(2箇月単位)	現在の従量料金		改定従量料金				P 前段階 の単価 との 差額
	I 現在の 単価	J 前段階 の単価 との差額	K 改定単価	L 増加する 額	M 改定率	O 平均 改定率	
① 21~40m ³	110	30	120	10	9.09%	13.04%	40
② 41~60m ³	140		160	20	14.29%		30
③ 61~100m ³	170	190	20	11.76%	30		
④ 101~200m ³	190	220	30	15.79%	20		
⑤ 201m ³ 以上	210	240	30	14.29%			

基本料金・従量料金改定率 平均 10.22%

上記料金改定による増収予測(26~30年度) 244,874,860 円

料金改定計算[I]の解消想定額(1ページ①) 229,599,789 円

15,275,071 円の剰余金 = 黒字発生

(1年あたり 3,055,014 円)

(税込額)

口径	使用水量	現行料金	改定後料金	増額	増加率
13mm	42 m ³	4,047 円	4,389 円	342 円	8.45%
20mm	52 m ³	5,637 円	6,216 円	579 円	10.27%
25mm	136 m ³	24,557 円	27,573 円	3,016 円	12.28%
30mm	327 m ³	68,598 円	77,931 円	9,333 円	13.61%
40mm	1,094 m ³	243,558 円	277,578 円	34,020 円	13.97%
50mm	2,106 m ³	487,563 円	555,702 円	68,139 円	13.98%
75mm	2,082 m ³	498,171 円	567,504 円	69,333 円	13.92%
100mm	16,404 m ³	3,671,922 円	4,194,288 円	522,366 円	14.23%

